

会議録（要点記録）

| 第1回堺市美原区政策会議 | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 令和5年11月9日（木）午後7時00分～8時30分 |
| 開催場所 | 美原区役所本館5階 大会議室 |
| 出席委員 | 堀内座長、東委員、阿部委員、安野委員、上野委員、浦委員、米谷委員、高岡（照）委員、高岡（裕）委員、高岡（里）委員、田中委員、釣井委員、豊岡委員、鳥井委員、中田委員、西村委員、伯井委員、松本委員、山本委員、湯井委員 |
| 事務局職員 | 山田区長、松木副区長、北口課長、池川参事役、荻野課長補佐、妻谷主幹、津田主幹兼係長 |
| 関係課職員 | 美原保健福祉総合センター：富田所長 美原区役所自治推進課：田中課長 区政推進課：土橋 交通公共担当：斉藤主幹 |
| 案件 | 1 各団体等の活動及びつながりについて 2 その他 |
| 傍聴者 | 2人 |
| 配付資料 | 次第 資料1 美原区政策会議構成員名簿 資料2 美原区ビジョン2025【概要版】 資料3 堺市区政策会議に関する条例 資料4 堺市区政策会議に関する条例施行規則 資料5 美原区政策会議開催要綱 補足資料 東委員、阿部委員、安野委員、上野委員、浦委員、米谷委員、釣井委員、鳥井委員、伯井委員、松本委員、山本委員、湯井委員 |

開会

《事務局が会議の開催を告げ、公開を確認、欠席委員の報告を行う》

○司会 次に、美原区長、山田から一言御挨拶がございます。

○山田区長 皆さん、こんばんは。美原区長の山田でございます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、美原区政策会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、平素より堺市政並びに美原区政に格別な御理解、御協力をいただいております。

会議録（要点記録）

ことに、重ねてお礼を申し上げます。

さて、この美原区政策会議は、区の実情や特性に応じて政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るために、区民参画と区長の政策立案を支える行政運営上の会合として開催するものでございます。

美原都市拠点では、黒山東西地区に大型商業施設が2か所開業するなどいたしまして、拠点としての機能を整備して約1年がたちました。開業してから人の流れが大きく変わり、美原のまちに賑わいがもたらされていると感じます。先日開催いたしました「みはら区民まつり」におきましても、ららぽーと堺様とビバモール様に会場や駐車場などをお借りすることができまして、大変ありがたく思っております。加えまして、区民まつりの出展ブースや、それから、運営に関するサポートスタッフにおきましても、こちらにいらっしゃる団体様からたくさんの方に御協力をいただきました。お祭りの当日は天候にも恵まれて、約1万3,000人の方に来場していただき笑顔があふれるにぎわいのあるお祭りになりました。このお祭りが大きな事故もなく無事に終えることができましたのは、ひとえに地域の皆様や各種団体の皆様方のお力添えがあったからだと思っております。この場をお借りいたしまして、改めてお礼を申し上げます。今後も、地域、各種団体、企業、学校、そして、行政がしっかりとつながりまして、美原区をより一層活気あふれるまちにしていきたいと考えております。

今期の美原区政策会議では、美原区ビジョン2025の基本方針である「安全、安心に暮らせる」「魅力的で訪れたいくなる」「やってみたいが実現できる」に関する内容や、次期改定ビジョンに向けましたアンケート調査の内容などにつきましても、委員の皆様幅広く御意見をいただきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から積極的に御意見や御助言をいただくことをお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○司会　　ありがとうございました。

続きまして、委員の皆様を五十音順で簡単に御紹介いたします。お名前を呼ばれた委員はその場で御起立ください。

<各構成員紹介>

○司会　　続きまして、事務局職員を御紹介いたします。

<事務局職員紹介>

会議録（要点記録）

○司会　　続きまして、堺市美原区政策会議の設置目的等について簡単に御説明いたします。

この会議は、区民等の意見を反映しつつ、区ごとの実情及び特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るために設置されており、区長は委員の皆様からいただいた様々な意見を参考にさせていただき、施策を進めてまいります。

なお、この会議は単一の結論を目指すものではなく、広く意見をいただく場所であり、世代や立場などの違いにより意見が違ふこともあると思いますが、御自身の立場で積極的に意見を述べていただきますようお願いいたします。

ただし、他の方の意見を否定することや御自身の意見に賛同するよう促すようなことはお控えいただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、美原区ビジョン2025について簡単に説明させていただきます。資料2を御覧ください。

美原区ビジョン2025は、堺グランドデザイン2040や堺市基本計画2025を踏まえ、バックキャストイングの手法を用い、10年後の美原区が目指すべき将来像とその実現のための基本理念と基本方針を示し、美原区に関係する全ての人にとって共通の目標となる計画であり、美原区区民評議会での審議を経て策定に至りました。

計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間で、「“みんな”の架け橋になり、笑顔あふれるまち 美原 ～さあ、一緒に挑戦しよう～」を10年後の美原区が目指す将来像として、美原らしさの発揮、新しい発想や技術の活用、誰一人取り残さないという決意を基本理念として、「安全、安心に暮らせる」「魅力的で訪れたいくなる」「やってみたいが実現できる」の3つの基本方針を設定して、活動プランに沿って計画を推進してまいります。

本日の会議では、基本方針の3、「やってみたいが実現できる」の活動プラン、相互理解を深めチャレンジや自己実現を支え合える環境整備に関連して、各団体等の活動及びつながりについて御発言いただきたいと考えております。

それでは、ここからの会議につきましては、堺市美原区政策会議開催要綱7の（2）の規定に基づき、堀内座長に進行をお願いしたいと思います。

では、堀内座長、議事進行をお願いいたします。

○堀内座長　堀内です。それでは、進行させていただきます。皆様には円滑な議事の進行に御協力をお願いいたします。

案件1、各団体等の活動及びつながりについてですが、お一人ずつ、自己紹介とともに御発言をいただきたいと思っております。もし案件についてお話しいただく内容がなければ、自己紹介だけでも結構です。

私と田中委員が正面に来ていますがそのほかの委員は反時計回りに五十音順に並んでいますので、まず私から簡単にお話しさせていただいて、東委員、阿部委員続いていただいで、

会議録（要点記録）

最後、田中委員にお願いしたいと思います。

全ての委員にお話しいただきますので、お一人3分でも約1時間かかります。できるだけ簡潔にお願いいたします。委員の補足資料がある場合もありますので、適宜、参照していただければと思います。

では、まず、私、堀内です。この名簿では阪南大学 国際観光学部の教授とありますが、来年4月からは学部が総合情報学部に変更になります。新たな学部では、例えば統計資料のRESAS（地域経済分析システム）を使い行政の計画などに関して学生を指導することもあり、その観点でいろいろと提案できることもあるかと思います。ただ、今回はまだそこまでできていないので、来年4月以降、そのようなお話もさせていただくかもしれませんので今度ともよろしくお願いいたします。

では、東委員、お願いいたします。

○東委員 失礼します。美原高校の東と申します。本校は御存じのとおり、3年後には閉校ということで、残念ながら無くなってしまいますが、本年度、私が着任し、現在進めておりますのが、高校生にとってこの美原区にはどのような魅力があるのかというのをしっかりと探求させようと考えております。なかなか大人の集まりでは高校生目線というのが見えないう部分もあるので、今年の1年生に、どういう町ならば美原区に住みたいかや美原区の課題ってどこにあるのかななどを高校生目線で調べさせて、いろいろと発表させていきたいと考えております。また、何かいいお知恵がありましたら教えていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○阿部委員 民生児童委員をしています阿部美奈子です。よろしく申し上げます。民生委員は、民生委員法、児童福祉法によって設置された地域住民を支援するボランティアです。

コロナ禍の後、介護認定を受けられた高齢者の方が認定を受けられた時よりもっと重くなるという状況が出ており、5月以降、5類になってから、なるべく外に出ていただくようにしています。また、コロナ禍では対面での訪問を遠慮させていただいていましたが、5月以降はどんどんおうちにお伺いして、なるべくお顔が見られるまでピンポンピンポンと押し続けるような、少ししつこいやり方をしてでも出てきてもらうようにしております。

中には1時間、1時間半とお話ししてくれる方もおられますので、1日に3件、4件回ったら、夕方になることもありますが、皆さんと一緒にいきいきサロンなど、みんなが集まれるところに出させていただいております。

認知症の方もおられますが区民まつりのときも、御近所の方が誘ってくださって一緒にお祭りを楽しんだということもあり、私たちは、大きいことはできませんが、高齢者や子どもたちや障害者の方と一緒に楽しい毎日が送れるようにできたらいいなって思っております。

会議録（要点記録）

○安野委員 皆さん、こんばんは。私は安野と申します。美原区が一番端の木材団地のすぐ近くに通称菅生新田、もともと地番では菅生ですが、そこに住んでおまして、1987年からアメリカ、欧州、アジア、最後は中国ということで、2012年の3月にちょうど11年前ですが日本に帰ってまいりました。

定年退職で日本に帰ってきて、一番驚いたことは日本のスピードが本当に遅くなっていることで、海外でこんなスピードで動いていたら誰も取引できない状況で、今の時代の流れから日本は何か取り残されているのではと感じました。

いろいろな国に出入りするたびに、日本は海外に出る前とそんなに大きく変わってないと感じ、最後にいた中国などを見ていただいたら分かると思いますが、今やIT大国ですし、世界第2位のGDPの国になっています。政治的な部分もありますが、それだけ一生懸命、国民みんながやった結果であると思っています。

ニューヨークに行った1987年当時日本は、ハーバード大学のヴォーゲル教授が言った「日出ずる国」ですごく発展している国で、いずれ世界1位になると言われていましたが、最近の報道ではドイツに抜かれて4位になり、その次にはインドにも抜かれるという寂しい時代になっています。

活動内容については補足資料を見ていただければと思いますが、日本人が減っていて、それを埋めているのが海外の人で、これからは日本だけではなく海外に向けていろいろな人に働きかけていくことが必要な時代が到来しているではと思っています。

美原区でもいろいろな国の人に来て、私らが知らない魅力を気づかせてくれる、そういったことを長くやることで少しでも美原区の魅力づくりをお手伝いできたらなということで今回参加させていただきました。どうぞよろしくお願いします。

○上野委員 こんにちは。公募で参加させていただきます上野紗代と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、阿弥地区でこども会に加入させていただき、以前、役員として活動させていただきました際に全然会ったことないような方とかも交流させていただくことができました。

すごくいいなと思ったのですが、だんだんとこども会のメンバーが減少傾向にあり、ほかの地区では無くなっているっていうようなことも伺っております。

子ども同士の交流等もすごくいいなと思い、微々たるものですが、少しでも何かのお役に立てたらなと思って参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○浦委員 こんにちは。農芸高校の校長の浦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私の補足資料を御覧いただきたいと思います。

まず、農芸高校ですが、美原区に住まわれている方や勤められている方は、よく御存じ

会議録（要点記録）

かと思いますが、農業の専門の学校でございます。ハイテク農芸科は農業をやる、食品加工科はパンやお菓子、資源動物科は動物を扱っており、3つの学科で構成されています。普通科は持っていませんので、専門の農業の学校でございます。600名規模の学校ですので、そんなに大きくはないのですが、最近ほかの学校の生徒数が少なくなってきているので、これぐらいの学校が増えてきているのかなと思います。

農芸高校は創立106年を迎える学校で、元は舟渡の黒山小学校の横にあったそうなんですけど、室戸台風で潰れて現在のところへ移ったというふうな歴史のある学校でございます。

学習の内容としましては、農業に関する分野で様々な研究活動、プロジェクト学習を行っておりまして、地域での連携活動で、自分たちが農業や食品で地域の方々と何か一緒にやろうという取組をたくさんやらせてもらっております。

その一環として、各種イベントに参加させていただいて、農産物の販売であったり、クラブ活動で出演させてもらったりしております。黒山まつりや、美原西のつどいなどいろいろなイベントでも協力をさせてもらっています。

あと、地域での取組としましては、ここに書いている以外にもたくさんありますが、美原の商店街の活性化ということで、パンのお店を出させてもらって販売をさせてもらったり、学校前がある丘のところで動物の展示をする、ふれあい動物園などの形で地域の方と連携させてもらって、来ていただいた方に命の大切さを感じてもらおうとか、小学校に行かせてもらって、命の学習、動物との触れ合いであったり、農業の体験などもやらせてもらっています。

最近ですと、ららぽーとの葉菜の森さんというところで農産物の販売などもさせてもらっており、ほかにも古代米プロジェクトなど、いろいろなところで関わらせてもらっています。いろいろなところで協力できるところについては今後もやらせていただきたいなと思っています。

コロナ禍で活動を縮小していた部分はありますが、徐々に再開していますので、またいろいろなところで協力をお願いしたいと思います。以上です。よろしくお願いします。

○米谷委員 堺美原ライオンズクラブから選出されました米谷でございます。よろしくお願い申し上げます。各団体との活動及びつながりについて、でございますけれども、皆さんのお手元にお配りしている補足資料のとおりでございます。私が所属しております堺美原ライオンズクラブが、美原の地で一昨年、50周年を迎えて、ウィサーブの精神で様々な地域の奉仕活動を進めているところでございますけれども、改めて地域、行政とのつながりを重視していく活動を強めていこうということで、その中で提起されております美原区ビジョン2025の基本理念及び基本方針に書かれている活動についても、ライオンズクラブでも取り上げていこうということでやってきており、いろいろと皆さんと共にまちづくりのために貢献できればいいなというように思っております。

会議録（要点記録）

また、先日、区民まつりが開かれましたが、ランオンズクラブのメンバーの一人が陶器をやっておりましたので、焼き物を無償で提供してもらい売上金の全額を子ども食堂に寄附させていただくようにしております。それと、もう一つ、骨髄バンクに寄附しようということで、地域の中でも貢献していこうということも考えております。

また、いろいろな史跡の看板が傷んできていますので、美原のよさを出すためにも、この看板の新調をするためにどうするかという取組もやってきております。

また、私は自治会の会長もやっておりますので、こういう点でもちょっと意見を述べさせていただきます。特に自治会活動についてはなかなか会員が増えない。逆に減っているというこういうことが続いてきております。特に地域のつながりから見たら、絆とかいろいろ言われているけれども、自治体活動や自治会のメンバーが増えなければいけないんじゃないかなということで、朝日新聞でも自治会問題の記事も載りました。朝日新聞のホームページを見ますと、1,000人ほどのアンケートがありまして、全部読ませてもらいましたが、これといったいい案が出るようなことがなくて、私自身、今、自治会活動とは何かということで悩んでいるのが現実でございます。ビジョンの中にも、誰一人取り残さないという決意ということが書かれておりますけれども、本当に自治会が減る中でそういうことができているのかほとんど困っておる次第でございます。

ただ、悩んでいるだけでは駄目だということで、地元の中でチューブ体操やカラオケクラブ、また、百歳体操クラブやカラオケのおしゃべり会というのを立ち上げたりして、皆さんとのつながりを持つようにいろいろ工夫もししておりますが、ここらの点もいろいろ考えていかなければならないだろうと思っております。

また、東多治井の、私の所属しております東多治井地区自治会が堺市のICTのモデル自治会というのになっておりまして、スマホ教室を持つとかということも自治推進課とお話ししていますが、できればスマホを使って、いざ災害になった場合でも皆さんに連絡がつく、そういうものになればということで工夫もしております。

また、もう1点、一番悩んでいるのは、バスが減便になってきている問題で、これが一番大変だなというふうに思っております。今後、バスが廃止になるということもありまして、今日も南海バスからの推薦の中田委員が来られていますが、バス会社も大変だろうというのは分かりますが、その中で、どのようにして地域の公共交通を守るかということは、本当に皆さんとともに考えていかなければ、私の住んでいる地域では本当に深刻な状況で、また何かの機会がありましたら区政策会議でも取り上げていただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

○高岡（照）委員　民生委員の主任児童委員をしています高岡でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。さっき阿部委員がおっしゃったのと同じような活動をしています。

会議録（要点記録）

主任児童委員の場合は、主に子どもたちを対象にした活動になっています。今月の23日の日にM・Cみはらで子育てのフォーラムがありますので、そういうこともしています。それから、私個人的には、朝、子どもたちの登校のときに見守る活動をしています。子供たちに言わせたら旗持ちのおばちゃんっていうふうになっていますが。以上です。

○高岡（裕）委員　JA大阪南の女性会として、私はその代表で来させていただいています。女性会立ち上げの当初、女性会の活動をどのようなものにするのかをみんなで相談しました。

30年以上前になりますがこの地域では郷土食の「あかねこ餅」というものがありまして、私たちが嫁いできてから知ったのですが、餅米と小麦を一緒について餅にすると漂白していない小麦の色で赤くなるのでこの名前が付いたようです。

それがおいしかったので、みんなに伝えていこうということから活動を始めました。

各イベントではガス台や石臼など必要な機材も持っていき餅米を蒸して、ついて、その場でお餅を作って活動してきました。

各イベントのみならず小中学校からも要望があり、それも12月の寒い時期にしてほしいということで本来なら「あかねこ餅」は田植えが終わった後の半夏生はんげしゅうのときに食べるものですが、運動場ですごく冷たい思いをして餅をついて子どもたちに教えたことがありました。

それから中学校を3つ回るイベントやすこやかフェスタなど色々な活動に参加していくうちに、美原町が堺市になる前に、大阪を食べようっていう事業で大阪府と美原町と自分たちでお金を出し合って、農協さんには場所を借りて、ちゃんとした加工場を造っていただきました。

農芸高校さんにも10年くらい「あかねこ餅」を作りに行って、生徒さんとはそば打ちを一緒にしたり、コロナ禍の前まではみんな楽しく活動をしていましたが加工場ができて約20年がたち、メンバーのみんなが高齢になっていくなかで病気になる人も出てきたため今年の6月に「あかねこ餅」をつくる会は解散しました。

これからの活動としては農業とは限りませんが若い人たちが頑張っていることを女性会で応援していけるようなことを考えていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

○高岡（里）委員　前回から引き続き、公募で参加させていただいています高岡里恵と申します。私は10年間、古民家カフェを営生でやっていました。そのカフェをやっていたときに感じたことは、どんなに不便でも、どんなに遠くても、目的があつたらどこからでも人は来るんだなっていうことで、うちは韓国や台湾や中国からも来ていただいたりとか、日本全国から、本当に美原って不便なところですがバスやタクシーをちゃんとスマホで見ながら来てくださって、ああ、人ってこんなに集まるんだっていうことと。

会議録（要点記録）

先日、ららぽーとにすごく人が集まっていたので、何があったのかなと思ったら、「超特急」という有名な人たちが来られていて、ものすごくバス停があふれていましたが、あのときバスは増便されたのか皆さんどうやって来られたのかすごく気になりました。でも、やはり目的があればあんなに人が集まるというのを目の当たりにして、さすが、ららぽーとさんっていうふうに思ったんですけど、この会にもららぽーとさんにぜひ来ていただきたいなっていうのが、私個人的な意見です。

あと、菅生では秋祭りが去年から再開されました。多分どこの地域でもだんじりやお祭りが今年は盛大に行われて、すごくにぎわっていることを考えるとやっぱり人って集まって、いろいろコミュニティーを取ったらすごく活気が出るんだというのを感じました。私の息子は青年団に入っていますが他の地域の青年団の方と関わったりする中で、ほかの地域と比べた時に自分の地域は何て恵まれているんだっていうことを目の当たりにしてみたいで、だんじり小屋がきちりして、地区会館がちゃんとしていて、団体の地区の会、菅友会という会、こども会、青年団もありますし、それらの会がきちりしてすごく恵まれているということを家で話していたんで、他を見て自分の地域のよさを知るっていうのがすごいことやなって思いました。

あと、この10年後の美原を見据えるっていうことでしたら、ぜひこの会議に私は10代、20代、30代の若い方の意見を聞きたいと思います。私は山本委員の意見なんかはすごくいいなって思っていて、いろいろな年代の方からの意見をすごく聞きたいと思いました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

○釣井委員　　こんばんは。美原西中学校でPTA役員をさせていただいています釣井と申します。今日から初めてこの場に来させていただきました。全然不慣れなもので、人前でしゃべることにも慣れてないのでちょっと緊張していますがよろしくお願いいたします。

美原西中学校では、今年度、コロナ禍以前には全然できていなかったお祭り関係の出店に参加させていただきまして、夏には八上小学校でのフェスタや中学校で行われるすこやかフェスタと、先日の区民まつりでもお手伝いに行かせていただきました。その中で、役員同士や、他の幼小中のPTAの役員の方々と接する中で、やはり子供たちもすごい楽しみにしていたんだなっていうのを感じました。どのお祭りも大盛況で夜に行われた八上フェスタでは盆踊りも開催されて浴衣とか着て、すごい子供たちも待ち望んでいたんだなっていうのを感じました。

私自身は美原区に引っ越してきてから20年ぐらいになりますが、昔は畑ばかりだったのが、あつという間にいろいろなスーパーや、ららぽーとまで出来上がって、本当にどんどん発展してきているなって感じています。この場でいろいろ、何か参考になることが伝えられたらいいなと思っています。よろしくお願いいたします。

会議録（要点記録）

○豊岡委員　大阪木材工場団地協同組合副理事長の豊岡でございます。木材団地は、堺市では本当、数少ない内陸立地型の工場団地で、60年の歴史があります。もともとは木材、建材関係の集積地としてずっとやってきましたが、今はいろいろな業種が集まった工場団地になっておりまして、協同組合の加盟企業が約50社、友好企業が約50社で、トータルで100社を超える工場団地になっております。

最近、異常気象ということで、ゲリラ豪雨とか、我々の団地も雨が工場の中に浸水するということが度々ありまして、我々は災害に強い団地を目指していますので、堺市さんから土のうの提供を受けたり、水の対策をしているところですが、その中で、調整池というのが団地内にあり、長年のヘドロが堆積しているため調整能力が著しく低下しています。それで、今、団地としては予算をつくりヘドロの回収、調整能力の回復工事を計画し、調整能力が回復できた暁には堺市に移管をして、その後の管理を市でお願いしたいと考えております。

地元とのつながりということでは、以前ウッドフェアっていうお祭りをしておりましたが、今はなくなりまして、区民まつりで木工教室を毎年開催させていただいております。地元から愛される、魅力ある、そして地元から働きたいと思われる、そういう団地にしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○鳥井委員　こんばんは。阿弥自治会の会長をしております鳥井と申します。仕事を辞めた途端に自治会の役が回ってきたという感じで、かれこれ地域に根差して6年、7年と、今は8年、9年かなという感じでございます。

補足資料では、阿弥自治会としてどんなことをやっているかを書かせていただきました。

今、問題となっているのが、会員数の増加がなかなかできないことですが、一番つらいことは、年配の方が組長をできないからやめるって言うので、一生懸命止めて、長い間自治会の役をやっていただいている活動されているのだから、やめることはやめてください。私は組長できませんから、次、回してくださいと言える人になってくださいということを機会ごとに、いきいきサロンや若葉会、老人会の活動のときに必ず言わせてもらっています。また、自治会ではいろいろな回覧を回していますが、組長を決めるときはそういう方の配慮をお願いしたいということも書かせてもらっております。気遣いということか、人の思い、年いているのだから、平等だけではだめだと思っています。そういうところを事あるごとに言いたいと思っています。

その中で、補足資料にも書かせていただいておりますが、秋祭りを去年、今年とさせてもらいました。去年は台風の中でしたが、雨は降らない、大丈夫という私の一声でみんながやってくれて、本当に雨も降らず、元気にみんな楽しくやらせてもらいました。それで、今年もさせていただいた時に思ったことは、やはりこういうイベントは絶対になくしてはいけないということだと思います。

会議録（要点記録）

それと、みんなを巻き込めるように回覧のときに募集して、老人会でやられているディスコンクラブの方とか、チューブ体操やっている方、また、福祉の方とか、みんな自分が元気なら頑張るといふ方たちに集まっていただき、スタッフとして130名が集まりましたが、来る人が1,000人近くと多過ぎまして大変でした。

おでん、かき氷、子どもたちのゲームなどたくさん用意しましたがあっという間に完売し、こちらが終わりというまで、帰らないほど盛況だったので、やはりこういうイベントは絶対になくしてはいけないと思いました。

それと、私自身が小学校の教師をしていたということもありまして、地区で夏休みに3日間ほど一緒に勉強しよう会をやらせてもらっています。初めは3人とか7人とかでしたが、今年は3日間で30、30、30、延べ90人が来ました。やはり続けることが大事で、リピートの子が多く、去年来た子が今年も来ていましたので、良いことは続けていかなければいけないなと思いました。

また、今年から新しくやったことが自治会館でのお茶会です。いつも第1月曜日に茶話会という形で福祉委員会の方がやっていたのですが、部屋の中でやっていてあまり新しい人が来られないので自治会館の前に桜の木があるので4月は花見、11月は紅葉ということで、縁台を出して抹茶とおまんじゅうでやらせてもらいました。福祉委員会からはあまりお金が出ないので自治会からも出して行くと新しい人が来てくれました。大きな負担がかからないように小さなイベントも続けていきたいし、やってよかったと思っています。

あと、防災関係では、校区で「無事です」カードというカードを配布し、安否確認をさせてもらいました。玄関にカードを出すだけの作業ですが40%近くの方が出してくれたのでよかったなと思っています。

いろいろなことをやっていて思うことは自治会の役員と地域の人との接点が重要でカーブミラーの不具合や溝掃除のことなど役員目線でない、いろいろなことを教えていただけなのが良かったと感じています。

最後に、情報発信では少しでも自治会のことを分かっていたらこうということで自治会だよりを毎月出しており、みんないろいろなことを知って、身近になってきたので、少しずつですけど、みんなとの深まりを持っていけたらなと思っています。

○中田委員 南海バスの中田でございます。いつも大変お世話になっております。当社のバス路線につきましては、新金岡方面からと、中百舌鳥、初芝方面からの路線バスを長きにわたって運行させていただいております。昨年、ららぽーとさんの開業時に美原区域の外から来られる方もたくさん増えたということがありまして、中百舌鳥、初芝から新たに急行便ということで、途中止まらずに運行するバス路線も設けさせていただきました。

あと、堺・モビリティ・イノベーション——SMIプロジェクトにつきましては、SMI

会議録（要点記録）

美原ラインということで、堺の都心部と美原を結ぶ堺市の実証実験を昨年度に引き続いて本年も運行協力をさせていただいております。今ちょうど運行しておりまして、10月から12月にかけて実証実験で運行をさせていただいております。

先ほどバスの減便というお話もあったかと思いますが当社のバス路線につきましては、全く減便もしておりません。今、美原区役所前のバスロータリーを見ていただくと、本当にたくさんのバスが集まってきているように見えます。そのほか、先般の区民まつりにつきましても、バスの展示をさせていただいて、お子様連れに実際にバスに乗っていただいたり、運転手の制服を着て記念撮影していただいたり区民の方と触れ合う機会を持って、バスに親しんでいただけるように取り組んでおります。

先ほどもお話しいただいたとおり、バス事業を取り巻く環境というのは非常に厳しい中ではありますけれども、やはり地域の方あっての我々バス事業でございますので、これからも少しでも利用していただけるように、我々もできることはやっていきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

○西村委員　　やかみっこキッチンの西村と申します。よろしくお願いたします。

やかみっこキッチンって何かなと思われる方もいらっしゃると思いますが、美原区の八上小学校区で子ども食堂をさせてもらっています。2017年から始めて、今で7年目になりました。子供たちの安心できる居場所を、家庭でも学校でもない第3の居場所をつくっていききたいという思いで活動をしています。コロナ前までは会食をしていましたが、コロナ禍からは安全面も考慮して、今はお弁当配布と困窮世帯に向けて食材のデリバリーをさせてもらっています。その中で、特に相談ごとが多い方には行政につながせてもらうこともしています。

今、お弁当は大体1回180食、子どもさんが取りに来られます。180食といたらすごいねっていうふうに、頑張っているねっていうふうによく言っていただけるのですが、それを作るのにも、民生委員さんたちがお手伝いに来てくださったり、ライオンズクラブさんが御寄附をくださったり、そういう地域の方やいろいろな団体の方からの応援のみで賄っていますので、私たちスタッフだけではなく、スタッフ以外のたくさんの大人たちが応援して御協力してくださっているおかげで180食というお弁当を作ることができています。季節のお野菜を入れたり、クリスマスでしたらクリスマスっぽいお弁当にしたりという形で四季も感じてもらいながら、食の大切さを通じて、子どもたちにもこれからの美原で暮らしていく上で明るい生活になっていけたらいいなと思っています。

私自身は、子ども食堂をやり出してから、八上小学校の地域コーディネーターと学校評議員をさせてもらうようになりました。学校の中にも入り込んで、先生とも連携を取りながら、より子どもたちに何をしてあげられるか、何をしたらみんな楽しく暮らせるかというの

会議録（要点記録）

を一緒に相談させてもらいながら少しずつ活動しています。

美原には子ども食堂が3つあるので、今日は私、その3つの代表として来させてもらっています。やかみっこキッチンも、基本的には八上小学校区の子が対象ですが、美原区の子供たち、どの子が来ても大丈夫なように、美原の子ども食堂全てで連携を取って、2か月に1回ぐらい会議をし、困り事などを共有し、しんどい御家庭などの情報共有などもしながら、誰一人取り残さないということを目指しています。

何か私たちができることがあればいいなと思っているので、お知恵があったらぜひ教えてください。よろしくお願いします。

○伯井委員　美原丹上郵便局の伯井でございます。よろしくお願いいたします。前回に引き続き構成員をさせていただきます。補足資料の上部には郵便局としてのことを書かせていただきました。堺地区全体として、消防署、警察署と協定を締結させていただいております。堺市や本庁全体とはまだ協定を結べておりませんが美原区とはまちなか文庫を郵便局に設置させていただいたり、先月でしたら、包括支援センターの皆様が各郵便局を回ってくださって、例えば認知症の方が来られたとき、どの程度で連絡が必要かなどの細かい話もできましたのでフランクにさせていただいているのかなと思っています。

下のほうは、私が丹上地区に住んでおりますので、住民として、青年団と消防団に入っております。今年久しぶりに秋祭りを行いました。久しぶりにやったらやっぱりいろいろもめるんです。でも、やってみて思ったのは、秋祭り自体をやることも大事ですが、途中のプロセスのほうがより大事なのかなと感じました。そんなに楽しいことばかりではなかったとは思いますが。

ここで、つながりについてですが、前回、私がこの会議に参加させていただいて我々、構成員同士のつながりが全然できなかったなと思っております。会議のいろんな縛りとか、物理的な制約もあると思いますが、少し人数も多いので、例えばグループワークとかの形で、輪番で皆さんと話ができるような機会を設けていただきたいと思います。この会議で何かを決めることも大事だと思いますが、我々同士が今度、役所で擦れ違ったときに、「こんにちわ」って言えるようになることもそれ以上に大事じゃないかと思っておりますので、そういう工夫を一緒に考えていけたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

○松本委員　皆さん、こんばんは。前回から公募で参加をさせていただいております松本純也と申します。よろしくお願いします。今、32歳で、2人の子供がおります。下の子はゼロ歳でございます。

補足資料にもまとめさせていただきましたが、いっぱい資料になっていて申し訳ございません。上段の部分については、ふだん私のほうが仕事、通常の会社員として勤めており

会議録（要点記録）

まして、そのことを書かせていただいております。かいつまんでお伝えいたしますと、公教育に特化したコンサルティング会社で勤務させていただいて、企業さんの教育支援活動のコンサルティングや、官公庁、自治体からの委託事業等を受けて、実際に小学校、中学校、高校にプログラムを提供するという仕事になっております。

プライベートの活動は美原区で行っている活動ですが、2017年から「いきぷろ」という、いきる力を育むプロジェクトというものを立ち上げさせていただいています。これは教育をメインテーマにして活動しておりますけれども、これを立ち上げた背景としては、これからの時代、VUCA時代と言われるように、本当にすごいスピードで社会が変化をしていく中で、自分の子供が20歳、30歳、もしくは40歳になったときに、本当に自分が想像していないような社会で生きていくと想定をしたときに力強く生き抜いていく力っていうところが必要だなという思いでこの団体を立ち上げさせていただきました。

やっている活動は複数ありますが、重要なテーマとして今取り組んでいるのが、命をいただくというところの食育の観点と自分自身がどのように生きていくのかというキャリア教育の部分を中心にさせていただいております。

そこから、2021年になってから、「みっかつ」美原活性化プロジェクトというのを立ち上げさせていただきました。これは地域様々な課題がありますけれども、農芸高校さんの資源動物科の生徒さんと一緒に、美原の課題に対して課題解決型学習を実施するというこの取組をさせていただいております。

具体的内容としては、「美原の古代米」の「古代米プロダクト」や、あとは、農芸鴨という10年以上カモを研究されているというところもあり、それを活用して地域活性化のアイデアとしてシェア田んぼというビジネスアイデアを考えていただきました。今年度についてはそのシェア田んぼで、田植、稲刈り、カモをひなから育て、最終、屠殺、解体をして食すところまで体験いただくような、解体とかを見せるかどうかは別として、そのような事業をテストマーケティングというモニターを募集して実施をしているところでございます。来年度については、実際にサービスの展開のところまで持っていければ良いなと考えている次第でございます。

このような活動をさせていただいておりますが、地域の中で生活をしている自分の子どもの生きる力をつけようと思ったときに、地域の環境をどう良くしていくのかというところを自分自身でもしていきたいと思っております。先ほど伯井委員がおっしゃられたように、皆さんとつながりを持ちながら、いろんな御意見を伺いながら、自分も成長しながら、地域を少しでも良くしていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○山本委員 フルタ製菓の山本と申します。フルタ製菓では、12月にクリスマスフェアを行っています。その中で、地域の企業にもいろいろと御協力させていただいて、つながりを

会議録（要点記録）

たくさん持つことができています。コロナもあって4年ぶりの対面での販売になりますが、今年の12月では、ららぽーと堺のフードコート内での開催が決まっていますので、今後もららぽーとさんと協力して地域貢献につながる活動に取り組んでいきたいと考えています。

今後ともよろしく願いいたします。

○湯井委員 美原の古代米プロダクツの湯井と申します。今回初めてこの会議に参加させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

美原の古代米プロダクツは、美原区古代米プロジェクトの中の一つの活動の場ですが、私は3年前にこの古代米プロジェクトが実施しております農業塾の塾生でした。

農業に興味を持ちまして、3年前に仕事を辞め、今はやりの半農半Xという、半分農家しながら半分他で働くという生活スタイルを目指して始めたのですが、農業塾が始まるなり足の膝を痛めまして、結局、見学だけで1年が終わってしまったのです。そこで翌年度にもう一度ということで美原区役所にも認めていただきまして、スタッフみたいな形で参加いたしました。

私は中区に住んでいますが美原区にずっと通っていましたが、何かこの地域がとても私になじんでいて、田んぼもあり、魅力ある古墳もあり、すごく居心地のよい場所でいつのまにかついつい美原のほうに足が向いてしまうようになりました。

そして現在は古代米プロダクツのメンバーとして活動させてもらっています。

美原の古代米プロダクツは、美原の地で古代米の栽培をして販売、また商品化、広報とともに美原区全体の中でつながりある活動をしているのが現状です。

美原区ビジョン2025の中にありますみんなのつながりのイメージ図を見ましたら、すべてが少しずつつながってきていると感じております。

これからも、美原にできるだけ来させていただいてメンバーとともに美原の魅力を発信し、つながりを持ちながら頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

○田中委員 美原区の自治連合協議会の田中でございます。美原区の自治会の会長さんがこの中にも何人かおられまして、自治連の組織がどういうものかということは十分御存じだと思いますが、詳しくない方もおられると思いますので、自治連合会の組織と事業について報告させていただきます。

美原区には30以上の自治会がございます。小学校が6つありますので、それを6つの校区に分け校区の代表の方と区長さんから成る定例会を月1回行っております。その美原区の自治連合会の中から会長、副会長を選び堺市の他の6区とともに堺市の自治連合協議会を組織しており、それも月1回定例会を開いています。そこでは堺市からいろいろな事業の説

会議録（要点記録）

明を受けて、こちらからも意見を言って、その結果を校区にお知らせして、校区から単位自治会にお知らせするというのを毎月行っております。

そして、6つある校区の構成というのは校区によって少しずつ違いますが、一般的には単位自治会の役員さん、小学校の校長先生、PTA、こども会、女性会、老人クラブ、青少年指導員、民生児童委員、福祉委員の方で構成されており、それぞれの分野から意見を述べてもらおうということを毎月しております。

そして事業ですが自治会の基本は安全・安心で、まず、安全という面では、黒山警察と連携し防犯委員会がつけられております。防犯活動、防犯の啓発、それから、よく御覧になると思いますけれども、青パトの運行や歳末夜警の支援などが防犯関係として行っております。

防災では美原区で自主防災会というものをつくっており、これも各校区から、校区長を入れて3名の方が出席されまして、年に何回か会議を開きます。そして、防災士さんが、多分、美原区で90名ぐらいおられると思いますが、その方々と共に防災訓練を行っております。

また、防災の啓発活動やそれぞれの校区で防災計画がつけられていると思います。御存じない方もおられるかもしれませんが、校区防災計画というのはかなりの校区でできていて、この中で先ほど言いました自主防災会で区単位の自主防災会を組織しているのは美原だけでございます。他の6区には単位ではありますが区単位の自主防災会というのはいしてありません。

そしてイベントとしましては、先ほど区長さんからの話もありましたけれども、先週、日曜日に開催されました区民まつりの開催、それから市民オリンピックへの参加、各校区での祭り等を行っております。

それから、コロナでしばらく中断しましたけれども、6校区の自治会長に集まっていたいで市の市長との意見交換会は、今年は4月に開催され、この11月の半ばにも2回目が開催される予定です。また、日赤との連携もしております、いろんな事業をしております。ただ、見えない部分もあると思いますがそういうことを行っておりますので、お知らせしたいと思います。

なお、先ほどから各委員の団体でいろいろと活動されておられるのをお聞きしました。

伯井委員や松本委員が言っておられましたが、少し手を伸ばせば連携できるというか、本当に近くで同じような活動をしておられますので、他の団体と機会があれば声をかけて、連携できるものはできたらいいなというのを、今、お話を聞いて感じました。以上でございます。

○堀内座長 委員の皆様方、いろいろと活動内容の御紹介ありがとうございました。

会議録（要点記録）

ここまで20人の委員から御発言がありましたが、各委員の御発言に関して、御質問等ある方がいらっしゃいましたら、挙手して御発言をお願いいたします。

○安野委員 南海バスさんから中田委員が来られているので少し質問させていただきたいのですが、南海高野線で美原区から近くの駅では北野田駅には急行が止まるので一番便利が良く22分で難波へ行けるが初芝駅は各駅停車だけです。今は近鉄バスさんが北野田に行っていますが共同で南海バスさんも走るということは難しいのでしょうか。南海バスさんも走ってもらえると通勤も大分便利よくなりますが。

○中田委員 路線バスではバス事業者で営業エリアがあり、ある程度すみ分けがされているのが実情でございますので、基本的に近鉄バスさんのエリア、南海バスのエリアというところで、分かれてそれぞれで運行しているのが実態でございます。

どこのバス会社さんもそうだと思うのですが、報道等にもありますとおり、バス運転手の不足が非常に問題になっており、なかなか新しいことにチャレンジする余力もないのが実際のところでございます。一番には、冒頭に申し上げましたとおり、バス事業者でエリア分けがある程度されているというところでございます。

○堀内座長 ほかはどうでしょう。大丈夫ですかね。

各委員より様々な活動、連携について御報告いただきました。美原区において、人々のつながりや活性化に有効と思われるものも多々あったと思います。事務局はこれらの報告を参考に施策を進めてください。

なお、伯井委員や松本委員から発言あった、いろんな活動との連携がこれから可能だと思います。ローカルSNSのピアZZなどもありますので、様々な機会を適宜利用していただいて、ぜひ積極的に横のつながりを深めていただければと思います。

次に、案件2、その他についてですが、事務局から特にないようです。

それでは、これで本日の案件は全て終了ってということになりました。事務局に引き継ぎたいと思います。

○安野委員 少し私の意見を言わせてください。

○堀内座長 はい。

○安野委員 美原区のビジョン2025をここに御紹介いただいておりますがKPIは、私が海外にいた ちょうど25, 6年前から盛んに導入され いかにしてKGIを実現する

会議録（要点記録）

かいろいろ苦労しましたが 学んだことは いくらトップが認識、理解しても メンバー全員に伝わらなかつたら 目標を達成することできないことです。

したがって、山田区長さんに提案ですが、例えば各地区での総会が3月頃にありますので、そこに美原区から出かけられて、ビジョンについての説明や皆さんの意見とか、情報の共有化を図ってはどうか。私が海外で説明の時、新幹線と蒸気機関車の例を取り、蒸気機関車は先頭が引っ張って走りますが、これではスピードは限られる。新幹線には各車両に皆モーターがあるので250キロや300キロのスピードが出せる。

何を言いたいかという、いかに皆さんを巻き込んでいくかがすごく大事で、ぜひ、区長さんもお忙しいとは思いますが各自治会の総会に出られて多くの人に直接お話しいただく場をつくっていただければと思っています。

それと、このビジョンは令和3年にスタートされており、既に2年間が経過しています。

周りの環境がどんどん変化しているので、ある程度の軌道修正が必要で、よくPDCAサイクルという言葉で言われますが、今までやってきたことの評価、その次に改善をどのようにしているのか区長さんから意見を聞きたいのですがいかがでしょうか。

○山田区長 貴重な御意見をありがとうございます。地域の方々の生の御意見というのをいただく機会というのは本当に大事なことだと思っております。全てのところに出向くというのは、正直言ってなかなか難しいかも分かりませんが、こういったことがなかなか隅々まで知っていただけていないのもあるかとは思っていますので、区長ツイッターや区の広報、ホームページなども活用いたしまして、周知していきたいと思っております。

また、最初に少しお話しをさせていただきましたが、今、KPIなどがどのように進んでいるのか、達成できているのかということをお客の皆様にアンケート調査をする予定にしておりますので、そういったところも活用しながら達成度なども測っていきたく考えております。以上でございます。

○安野委員 どうもありがとうございました。

○伯井委員 座長、先ほどのお言葉で、ピアッザとかを使ってつながったらというお言葉ですが、各自の意見をSNSで集めてみんなで発表して終わりだったら、集まっている意味がどこにあるのでしょうか。これだったら、メールでみんなの意見を集めてホームページに載せればいいことで、例えばグループワークなどの方法を利用し、この場でつながる方法がなぜできないのでしょうか。今ここで結論出してほしいというわけではありませんが、ぜひ御検討いただきたいです。私はピアッザも去年の1回目の議題に出て実際にやりましたし、投稿もしました。何人かの方は見ましたけれども、別にそれっきりですし、正直それで何か

会議録（要点記録）

が進むとは思えません。意見集約だけであればメールで十分ですので、ぜひ次回以降の進め方を御検討いただけたらと思います。

○北口課長 企画総務課課長の北口です。いろいろ御意見ありがとうございます。先ほど座長からもお話しいただきました委員同士のつながりを深めたらということについて事務局でもよいアイデアはないかと考えておりました、例えば今回のテーマである各団体などの活動のつながりということで、皆さんが行っていただいている各種イベントに委員さんに御参加いただきたい、いただけるようなイベントなどがありましたら、私どもにお伝えいただき私どもから御案内させていただくなど、また、ほかの団体の方がどこかの団体の方のお手伝いをしたいとか、何かつながりが持てるような機会がありましたら、個人情報制限もありますが、皆さんの御許可をいただきながら、つながりを持てるよう機会を設けていきたいと考えてございます。

この会議は条例や規則等で定められておりますので、これを一旦外してもっと自由に集まれるような場の設定等もできれば良いのではと個人的には思っております。

以上でございます。

○伯井委員 ごめんなさい。個人情報を交換したいとかそういう意図ではなく、例えば、南区とかでは分科会とかいう形でやっておられます。なので、そういうことも可能だと思いますので、選択肢として、別に絶対それがいいというわけではなくて、みんなで検討していただければなという意見でございます。

○堀内座長 ほかどうでしょう、大丈夫でしょうか。

○松本委員 こちらの美原区政策会議の今後の流れといいますか、議題の部分で、先ほどの分科会とか様々なやり方があるかとは思いますが、もちろん美原区の事務局の皆さんが提示をされるという、次第を決めることももちろん必要ですが、委員として参加されている方々がどういうことをテーマにするのか、採用される採用されないは別として、もちろんテーマについては美原区ビジョン2025に沿った形だとは思いますが皆さんが興味や関心を持っておられることは違うと思っておりますので、まずテーブルの上に出すことができればいいと思っています。

先ほど伯井委員がおっしゃられたように、今日は活動の紹介で終わりかもしれないですが、皆さんが興味や関心を持っていることをテーブルに出すというところを今日、少しでもできればいいんじゃないかと思っておりますが、その辺り、時間的なところも含めていかがでしょうか。

会議録（要点記録）

○松木副区長 副区長の松木でございます。実は、伯井委員からの御意見を聞いたときに、実は、趣旨的には我々も同じようなことを考えておりました。

この会議自体は確かに条例で設置された会議ですが、これだけ多くの団体や企業が集まっている場面というのはなかなかないものです。

我々会議を運営しているものにしてみれば、そう頻度をもって開催するのは難しいことではありますが、せっかくこの場面で皆さんがこうやって会話をする中で、今日は皆さん方の活動や人となりを知ってもらうことが重要だと考えました。

この会が今後、皆さん方がどのようにつながっていくかの一つのチャレンジの場になればいいと思いますが一足飛びというわけにはいきませんので、まずは、皆さん方の活動をそれぞれが知ってもらう場面をつくり、その上でそれぞれに何か交流が始まれば、少しずつつながりが深化していくのではないのか。いきなり深い関係にはなかなか難しくても、一歩ずつつくっていくような2年間になってほしいというのが我々の思いです。

美原区政策会議の頻度というのは1年間に2～3回程度の開催ですが、先ほどの分科会という形を取るかどうかは別にしまして、何かの取組をするとき我々を仲介役として自由にその集まりに参加できるように一步一步をこの会議の2年間で培っていけたら、最後にはもっとみんながつながっている今までなかったつながりが生まれているのではと。実はそれを狙いたいと思って、今回の「つながり」というテーマを決めました。

ビジョンの10年後の目標である、「みんな”の架け橋になり、笑顔があふれるまち美原」を目指すためには今回のつながりというものが非常に重要なテーマであり、もしかしたら、まちにとっての結節点、一番の肝になる部分になるのではとっております。

抽象的なテーマですけれども、実は非常に大事なテーマで先ほど松本委員が言われたような今後の展開を一歩ずつ積み重ねできればというのが本音です。

そのためにまずできるところとして、先ほど北口が言いましたように、皆さん方からの情報を事務局が結節点となって伝えていくなど、皆さん方の御意見をいただいて、そこから少しずつつながっていったらと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○堀内座長 それを言うと、前、私、松本委員と何かオンラインでお話ししたりとかしていましたからね。そういうことで、皆さんそれぞれいろいろやっていただければ一番いいんじゃないかなと思っております。ぜひそういうふうな取組、区のほうにもよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、事務局、お願ひいたします。

○司会 そうしましたら、次回の会議は3月末までの年度内に開催したいと考えており、

会議録（要点記録）

今日いただきました御報告内容も参考に、次回の会議案件を検討したいと考えております。

では、以上をもちまして令和5年度第1回堺市美原区政策会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。